

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

PT. Indomarco Prismatama（証券コード：－）

【新規】

外貨建長期発行体格付	BBB
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 1988年設立、「Indomaret」ブランドで食品品や日用品などを取り扱うミニマーケットをインドネシア共和国にて展開している。食品製造事業やインフラ事業、不動産事業、リゾート・工業団地運営、自動車販売事業、情報インフラ運営など幅広い事業を手掛ける財閥大手のサリムグループに属し、同グループにおける小売事業の主力企業に位置付けられている。売上高および店舗数は同國小売業トップである。今後、業績は堅調に推移するものと予想される。直営およびフランチャイズにて高水準の新規出店が引き続き行われ、事業基盤の強化が進んでいくと考えられる。また、品揃えの充実に加えて、分割払い、オンラインショップ、電力や携帯料金、その他公共料金やチケットの支払いといったサービスの拡充などから、需要の取り込みが進むとみられる。財務構成は一定水準を維持している。ただ、今後は店舗網の拡充、それを支えるディストリビューションセンター（DC）の新設などから、積極的な設備投資が実施されると推察される。しかし、収益力の強化が進むことにより、財務構成への影響はある程度抑制されると考えられる。サリムグループの小売事業の主力企業であり、同グループのメンバーとしての恩恵を享受している。以上を踏まえ、格付を「BBB」、見通しを「安定的」とした。
- (2) インドネシアの小売市場は、経済成長や人口増加を背景に引き続き拡大が見込まれている。同国の小売市場では、個人商店など伝統的小売業の存在感が強いものの、当社は品揃えの充実や清潔で快適な販売空間の提供などにより、差別化を図っている。地場中小企業からの購入や伝統的小売業へのグループ企業からの商品提供により伝統的小売業に配慮した店舗網拡張を実施している。これら施策の推進とともに、ワンストップショッピングの利便性の消費者への浸透などから、当社のシェアは上昇していくと予想される。店舗数は19年6月末時点で16,974店に達している。顧客の利便性向上に向けて新規出店を進めており、今後も国内店舗数トップの地位を維持していくとみられる。DCでは情報システムを駆使し、効率的な配送を図っている。島しょ部への展開など厳しい環境に対応して新規出店を続けていくには、物流拠点となるDCの新設が欠かせず、用地確保に注力していく必要がある。今後の収益力強化に向けては、顧客ニーズの的確な把握とともに、自前のITシステムやビッグデータ分析の強みを活用してその情報を生かした商品開発の強化や店舗戦略の展開を行うことも必要とみられる。収益性の改善は重要課題であり、スケールメリットのさらなる追求や業務効率の向上策の展開が必要とみられる。
- (3) 近年の業績は増収基調にあり、それに伴い最終利益もおおむね増益傾向にある。18/12期の売上高は70.3兆ルピア（約5,400億円、前期比11.5%増）、最終利益は7,658億ルピア（約58億円、同75.0%増）と、店舗数増加により増収増益となった。19/12期以降についても、業績は引き続き順調に推移するとみられる。インドネシアの小売市場の成長を背景に、積極的な出店戦略の推進による店舗網のさらなる充実、プロモーション活動の展開などによる既存店売上高の伸長が見込まれる。
- (4) 18/12期末の自己資本比率は約40%となっており、近年の財務構成は変動はあるものの一定の水準を維持している。ただ、今後、積極的な出店を進めていくと同時にDCの拡充も必要となり、高水準の設備投資が続き、有利子負債が増加する可能性がある。財務規律を維持しつつ、設備投資が実施されるとみられる。JCRは今後のフリーキャッシュフローの状況、有利子負債を含む財務構成への影響を注視していく。

（担当）増田 篤・大塚 浩芳

■ 格付対象

発行体：PT. Indomarco Prismatama

【新規】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2019年10月25日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤
主任格付アナリスト：増田 篤
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「小売」(2011年7月13日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) PT. Indomarco Prismatama
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル